

# 民主市民連合 市議会報告

2025年12月11日北海道商工連盟版(第12号)

発行責任者 政審会長 うるしはら直子

札幌市議会民主市民連合議員会 北海道商工連盟推進議員連盟

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所17階 電話 011-211-3212

## 【第4回定例会市議会】(11月26日～12月10日)

### 1. 補正予算案など可決し閉会

第4回定例会市議会は12月10日、下水道料金を改定する条例改正案や、本定例会に追加上程された一般会計の総額で164億7200万円の本年度補正予算案など議案34件を可決し、閉会した。

下水道料金を改定する条例改正案は、26年10月から料金を平均で22.6%引き上げる内容。議案審査特別委員会での審議を経て可決した。下水道料金の改定は1997年以来、約30年ぶり。

追加上程された補正予算案には、国の総合経済対策を受け、子ども1人当たり2万円を支給する「子育て応援手当」に55億円を計上した。給付対象は、「0歳から高校生世代まで」の子どもがいる約16万8千世帯。26年3月31日生まれの子ども対象で、約27万人を想定する。

また、食料品の価格高騰に対応するため、全ての札幌市民に対し1人当たり3千円程度を支給する経費として77億6800万円を充てた。3千円の中身や支給方法、時期など詳細は今後詰める。

10日の本会議では、定例会初日(11月26日)に提出された、90億2100万円の一般会計補正予算案も可決。病院事業会計への運転資金の貸付金(30億円)や、建築家の安藤忠雄さんが設計・建築し北海道大学に寄付する図書館「こども本の森」の開設準備費(1300万円)を盛り込んだ。

新年度予算案を審議する第1回定例会市議会は2月12日に開会し、会期は3月26日までの43日間を予定している。

### 2. 代表質問で市政の諸課題質す

第4回定例会市議会の代表質問が12月2日に行われ、民主市民連合の定森光市議(西区)が登壇した。主な内容は次の通り。

#### (観光振興施策の安定的な運用方法)

「観光振興施策を中長期的かつ安定的に推進していくためには、宿泊税の税収を適切に管理し、将来に備える財源運用の仕組みが不可欠」と指摘。加藤副市長は「宿泊者数の変動に左右されず、必要な観光施策を展開することが求められており、基金の活用は有効な手法の一つ。先行する自治体の事例を参考に基金設置も選択肢に入れつつ、観光施策を安定的に推進する財源管理の在り方を総合的に検討する」と答えた。

#### (生活交通の維持)

運転手不足を背景として路線バスの減便や廃止が相次ぐ中、運転手確保のための継続的な取り組みを要請。秋元市長は、生活交通確保対策パッケージに位置付けた取り組みの効果を定期的に検証するとともに、「引き続き必要な施策を検討したい」と応じた。運行を支える整備部門の人材確保に関し「行政が主体的に関与することが不可欠」と質したのに対しては、「整備士確保に

関わる現状と見通しを把握するとともに、どのような対策が必要か検討すべき」との認識を示した。

#### (持続可能な除排雪体制の構築)

「安心・安全な冬の道路環境を確保するためには、除雪事業者の体制維持に加え、先進技術の活用による作業の効率化が不可欠」と強調。体制維持のための取り組みや先進技術の活用による効率化等、「そうしたことを検討するにあたっては、市と除雪事業者で現状や課題を共有しながら進めていく必要がある」と進言した。市長は、事業者とより一層の意見交換を重ね、頂いた意見を雪対策審議会や除排雪手法小委員会での議論に反映しながら、持続可能な除排雪体制の構築に向けて検討を進めると答えた。

### 3. 経済観光委員会における主な質疑

**質問** 食料品物価高騰に対する支援（市民1人当たり3千円程度）について、国の定めでは全市民を対象としているが、市民の自治体をまたいで移ること等もある。基準日をいつにするのか、またDV被害者など個人情報を保護する必要がある市民への対応はどのように考えているのか。

**答弁** いつ時点で住民基本台帳に登録されている市民を支援対象者とするかは、国からの通知などを鑑みながら決定することになる。また、支援にあたっては、DV被害などを理由に、やむを得ない事情で住民登録を異動できない市民へ配慮する。

**質問** 第2次定山溪観光魅力アップ構想（素案）における現状の分析では、宿泊客の多くが1泊のみ、夕方到着・翌朝出発という施設完結型の観光が主流となっており、「滞在時間の短さ」が挙げられている。「まち歩き」や「周遊」を楽しんでもらい、滞在時間を延ばすためにも、魅力あるコンテンツの質的・量的の充実が不可欠だ。

**答弁** 各ゾーン（①二見・溪谷②湯の町③白糸・定山溪大橋④三笠・錦橋）の魅力創出と、エリア全体のコンテンツの組み合わせにより、定山溪の四季の特色を最大限に生かし、多様化する観光ニーズへ対応することで、来訪者の滞在時間、宿泊日数の延長へとつなげていく。

### 4. 可決した意見書

- ①聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- ②事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書
- ③介護保険制度の見直しに関する意見書

### 【2026年度札幌市予算編成へ要望書提出】（11月26日）

市議会民主市民連合と立憲民主党札幌支部は11月26日、秋元克広市長に対し、2026年度札幌市予算編成と市政運営に関する要望書を提出した。重点項目として、①物価高騰対策②子ども・子育て支援③経済対策④持続可能な交通ネットワークの確立⑤ヒグマ対策の5項目を列挙。また、市民の暮らしなどに関わる129の個別項目を挙げ、対応を求めた。